

## 中1国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読み書き 76.3%

**ねらい**：漢字の読み方と書き方についての知識を問う。

**分析と対策**：「供」と「縮」の訓読み、「障」など、トメ・ハネや画数・書き順を間違えやすい漢字に注意しましょう。部首も覚えましょう。

### 2 熟語、文節相互の関係 71.0%

**ねらい**：熟語の組み立てと文節相互の関係についての知識を問う。

**分析と対策**：二字熟語の組み立ては、漢字の組み合わせによっていくつかに分けることができます。熟語の組み立てを判断するには、一つずつの漢字の意味を考えた上で、二つの漢字の関係を考えるとよいでしょう。また、文節相互の関係もいくつかに分けられますが、特に、主語・述語の関係と、修飾・被修飾の関係は基本になるので、しっかりと理解しておきましょう。

### 3 文学的文章読解 65.9%

**ねらい**：主人公の視点から描かれた、登場人物の置かれている状況、主人公から見たその人物の心情の読解について問う。

**分析と対策**：展子は完璧な美人である久美への手紙を預かることが多いのですが、久美はそれらの手紙に興味を示さず、ラジオ番組を作りたいという夢を持っています。一方、展子は美術部で絵を描いており、思いを寄せる山本徹に、勇気を出して絵のモデルを頼むという文章です。主人公の視点から描かれる登場人物の姿を丁寧に読み取って

いきましょう。(1)(3)は、手紙に対する久美と展子の心情を読み取る問題です。(2)(4)は、久美が放送部に入った動機や、テレビではなくラジオ番組を好む理由を読み取る問題です。久美は、心の通い合いを求める人間であることを捉えましょう。(5)(6)は、徹をモデルに誘うまでの葛藤、承諾された驚きと喜びという、主人公のめまぐるしい心情の変化を読み取る問題です。(7)(8)は、展子と久美についての細かな描写を正確に読み取る問題です。

### 4 説明的文章読解 52.2%

**ねらい**：前半で日本の「わかりあう文化」について、後半で対話とは何かが述べられた文章の構成をおさえ、日本人である筆者が最も主張したいことを読み取る力を問う。

**分析と対策**：日本の「わかりあう文化」「察しあう文化」について、その長所を認めつつも他文化との関わりの中で今後必要なことは何かということや、対話について述べた文章です。(1)(2)(3)は、日本の文化を他文化との比較などから捉える問題です。(6)は対話に関する問題です。ともに全体の内容を理解しておく必要があります。(4)は接続語の問題、(7)は内容から文章を二つに分ける問題です。(8)は、文章全体の要旨を読み取る問題です。

全体の平均点は64.1点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。